

第2期 さいと未来創生総合戦略

住んでみたい、そして住み続けたいと思えるまち“西都”を目指して

◆総合戦略とは

地方都市の人口の減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある日本社会を維持するための「地方創生」。

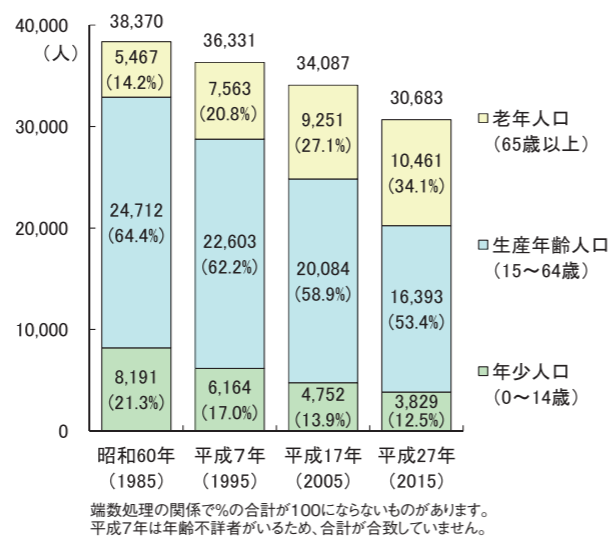
地域に“ひと”を呼び込み、“しごと”を創り、“まち”を活性化させるため、西都市では、平成27年度から、「さいと未来創生総合戦略（第1期総合戦略）」に基づき、取り組みを進めてきました。

この計画期間の満了に伴い、令和6年度を目標年度とする「第2期さいと未来創生総合戦略（第2期総合戦略）」を策定しました。

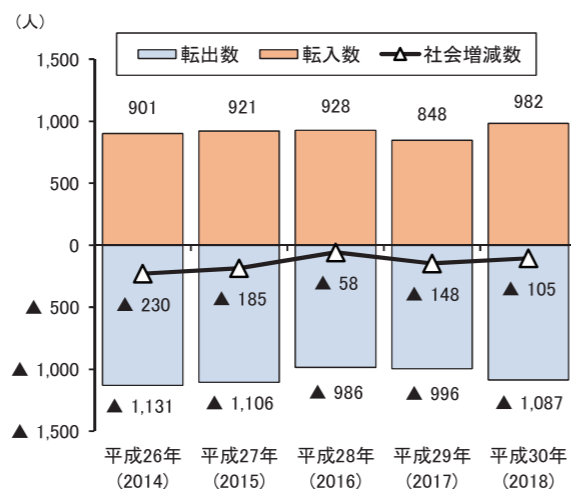
【まち・ひと・しごとの創生による好循環を目指します】



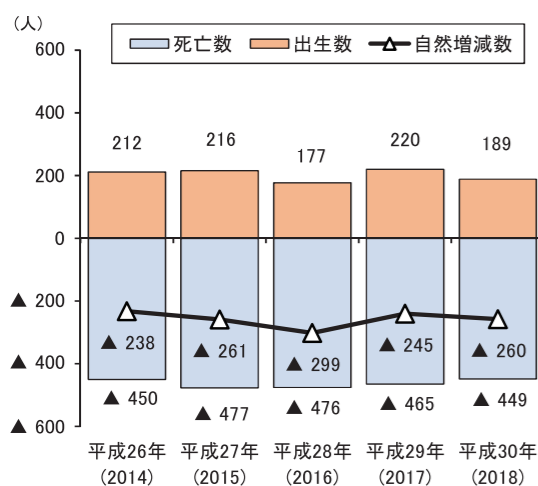
【西都市の国勢調査人口の推移】



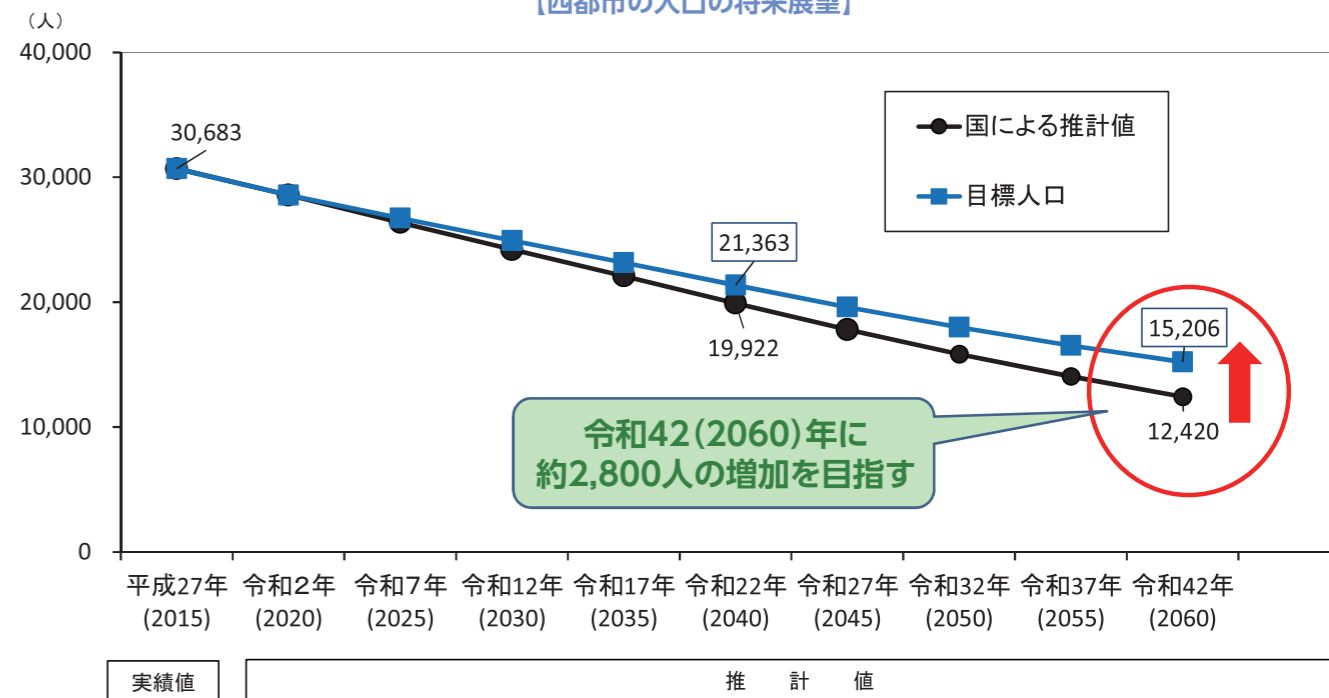
【近年の社会増減】



【近年の自然増減】



【西都市の人口の将来展望】

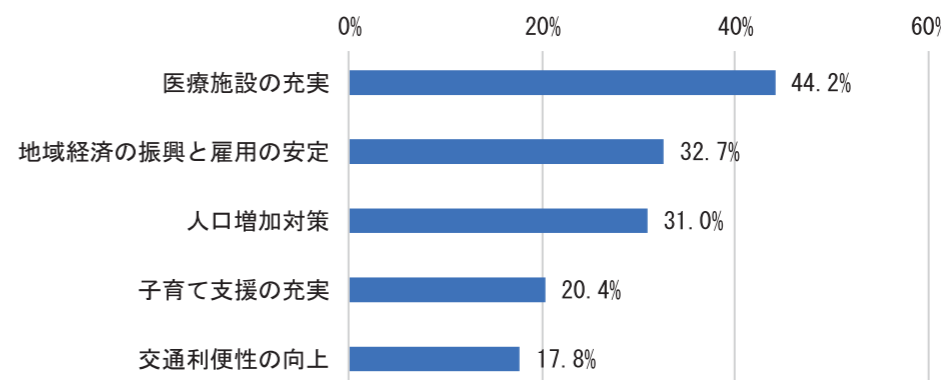


◆市民ニーズ

令和元年5～6月に第2期総合戦略および次期総合計画策定のために市民アンケート調査を行い、809人（回収率27.0%）から回答を得ました。

「今後重点的に取り組むべき政策」について20項目の選択肢から優先順に3つまで回答いただいた問いについては、「医療施設の充実」を望む声が多く、回答があった割合は5割近くにのびりました。次いで「地域経済の振興と雇用の安定」、「人口増加対策」、「子育て支援の充実」、「交通利便性の向上」の順となっており、これらに重点的に取り組んでいくことが求められます。

【今後重点的に取り組むべき政策(上位5位)】



◆第2期総合戦略

将来にわたって市民が安全・安心で幸せに暮らせる西都市となるためには、市民・関係団体などの皆さまと危機感を共有し、団結して西都市の未来創生に取り組むことが重要です。このため、第2期総合戦略では、「住んでみたい、そして住み続けたいと思えるまち“西都”」を基本理念とし、3つの基本目標を掲げて施策を進めることとしました。

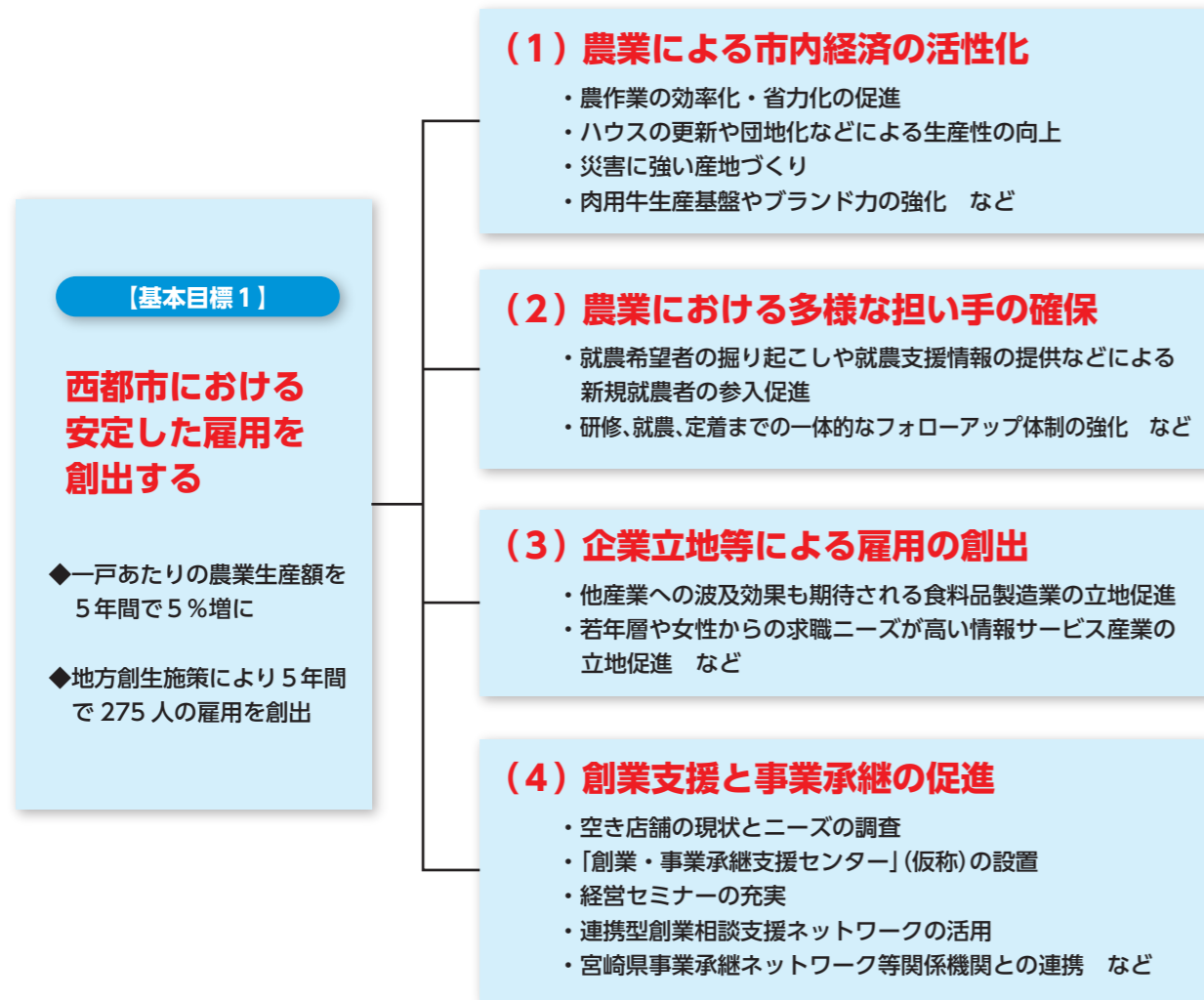
基本理念

住んでみたい、そして住み続けたいと思えるまち“西都”

【基本目標1】 西都市における安定した雇用を創出する

「西都市における安定した雇用を創出する」を基本目標に掲げ、「一戸あたりの農業生産額の5%増」、「地方創生施策による雇用創出数 275人」を数値目標に設定しました。

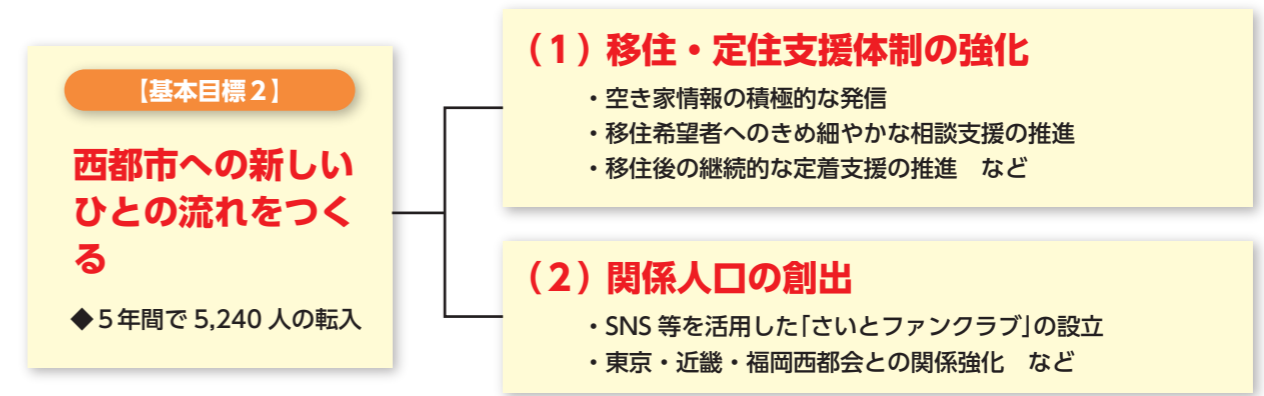
農業など西都市の強みを生かした地域産業を育成し、地域経済を活性化するとともに安定した雇用を創出します。



【基本目標2】 西都市への新しいひとの流れをつくる

「西都市への新しいひとの流れをつくる」を基本目標に掲げ、「5年間に 5,240人の転入」を数値目標に設定しました。

西都市の住みよさを多様な方法で積極的にPRし、「住んでみたい」と思ってもらえることで移住・定住者を増やすとともに、将来の移住・定住につながることを期待できる「関係人口」の創出を図ります。



【基本目標3】 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を基本目標に掲げ、「5年間で 1,040人の出生」を数値目標に設定しました。

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、少子化の克服と安心して子育てできるまちづくりを図るため、結婚・出産・子育ての各ステージにおける相談支援体制と子育て支援サービスの整備、教育環境の充実を図ります。

